

平成26年度 小松市予算のあらまし

もくじ

	ページ
1. 予算ってなに？	1
2. 平成26年度の予算はいくら？	2
3. どんな収入があるの？	3
4. 予算は何に使うの？	6
5. 借金（市債）はいくらあるの？	10
6. 貯金はいくらあるの？	10
7. 主な施策の概要	11

市の予算は、市民の皆さんに納めていただいた税金がどのように使われるかを表したものです。私たちの暮らしに密接に関わる予算のことを皆さんに知っていただくため、平成26年度の小松市の予算の内容をお知らせします。

1. 予算ってなに？（予算の仕組み）

地方公共団体は、新しい年度が始まる前に、1年間（4月1日から翌年の3月31日まで）の税金や補助金などの収入と1年間の行政サービスに使われる金額を見積ります。この見積りのことを「予算」と言います。

Q. どのような予算があるの？

市の予算は、使う目的によって一般会計、特別会計、企業会計に区分しています。

- 一般会計……税金などを使って、福祉、教育、道路や公園の整備、ごみ処理など市の基本的な仕事をする会計です。
- 特別会計……国民健康保険や介護保険など特定の事業をするために、一般会計とは別に保険料など特定の収入を集めて運営する会計です。
- 企業会計……上下水道や病院で、民間企業のように料金収入などの事業収益により運営する会計です。

Q. どうやって予算が決まるの？

市長が予算案をつくり、市議会の審議・議決をへて決まります。1年間の予算で一番最初に決まる予算を「当初予算」といいます。

Q. 年の途中で、予算を変えることはないの？

変えることがあります。「補正予算」といいます。当初予算を変更する必要があるときは、市長が予算の変更案をつくり、当初の予算と同じく市議会の審議・議決をへて変更します。

Q. 予算を使ったあとは？

年度が終わり、1年間の入ってきたお金と使ったお金の結果を「決算」といいます。年度が終わった後、決算書を会計管理者（お金の出し入れを管理する職員）が作り、市長が、市議会の認定を受けます。

2. 平成26年度の予算はいくら？

Q. 会計別の予算はいくら？

一般会計	400億8千万円	(前年度比 + 2億5千万円 0.6%増)
特別会計	325億6千万円	(前年度比 + 9億9千万円 3.1%増)
企業会計	201億2千万円	(前年度比 + 3億8千万円 1.9%増)
全会計	927億6千万円	(前年度比 + 16億2千万円 1.8%増)

・内訳表

(単位：億円)，△はマイナスを表す。

		26年度	25年度	増減額	増減率
一	般 会 計	400.8	398.3	2.5	0.6%
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	117.3	117.1	0.3	0.2%
	簡 易 水 道	0.3	0.3	0.0	1.5%
	農 業 集 落 排 水	5.2	3.9	1.3	34.8%
	介 護 保 険	93.5	90.0	3.4	3.8%
	公 債 管 理	94.6	91.1	3.5	3.9%
	工 業 団 地 造 成	1.9	1.8	0.1	4.5%
	後 期 高 齢 者 医 療	12.8	11.6	1.3	10.9%
	小 計	325.6	315.7	9.9	3.1%
企 業 会 計	水 道	32.4	33.9	△ 1.5	△ 4.5%
	公 共 下 水 道	81.0	71.8	9.2	12.8%
	市 民 病 院	87.7	91.6	△ 3.9	△ 4.3%
	小 計	201.2	197.4	3.8	1.9%
合	計	927.6	911.4	16.2	1.8%

Q. 予算の特徴は？

一般会計・・・歳入（収入）では、景気の回復基調により市税（税金）が前年度から9億円増加し、地方交付税は3億7千万円減少します。
歳出（支出）では、消費税率改定に伴う臨時給付金3億6千万円や、社会保障費2億1千万円が前年度から増加し、大型事業の完了に伴い建設事業費4億1千万円、業務の改善や効率化により人件費1億2千万円が前年度から減少します。

特別会計・・・国民健康保険，介護保険，後期高齢者医療の3つの会計では、医療費や介護費などの社会保障費の増により、前年度から5億円増加します。
農業集落排水では、新たに大野地区処理場の機能強化や那谷地区の測量試験を行います。

企業会計・・・公共下水道は、法令の改正による会計基準の変更（減価償却費）などにより前年度から9億2千万円増加します。

3. どんな収入があるの？

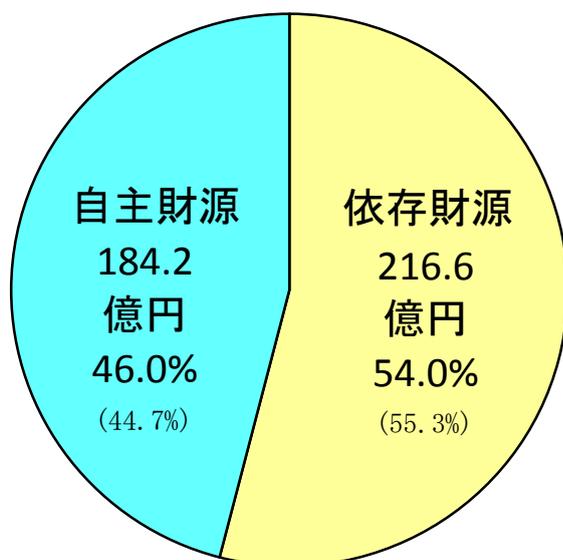
一般会計収入
400.8億円

自主財源	市 税	皆さんが納めた税金です。	155億円
	負担金や使用料	保育料や施設の使用料などです。	15億4千万円
	繰入金	年度調整のため、貯金から取り崩す額です。	5億7千万円
	諸収入など	資源ごみ売却収入など他に区分されない収入です。	8億1千万円
依存財源	国・県支出金	国や県からの補助金です。	91億4千万円
	地方交付税	全国で一定の行政サービスを提供するためなどで、 国や県からもらえるお金です。	60億8千万円
	譲与税・交付金		22億4千万円
	市 債	銀行などから借り入れる市の借金です。	42億円
合 計			400億8千万円

Q. 自主／依存財源の割合は？

「自主財源」とは、市が自主的に収入しうる財源です。市税、負担金や使用料、繰入金などがあります。

「依存財源」とは、国や県により決定される財源です。国・県支出金、地方交付税、地方譲与税、市債などがあります。

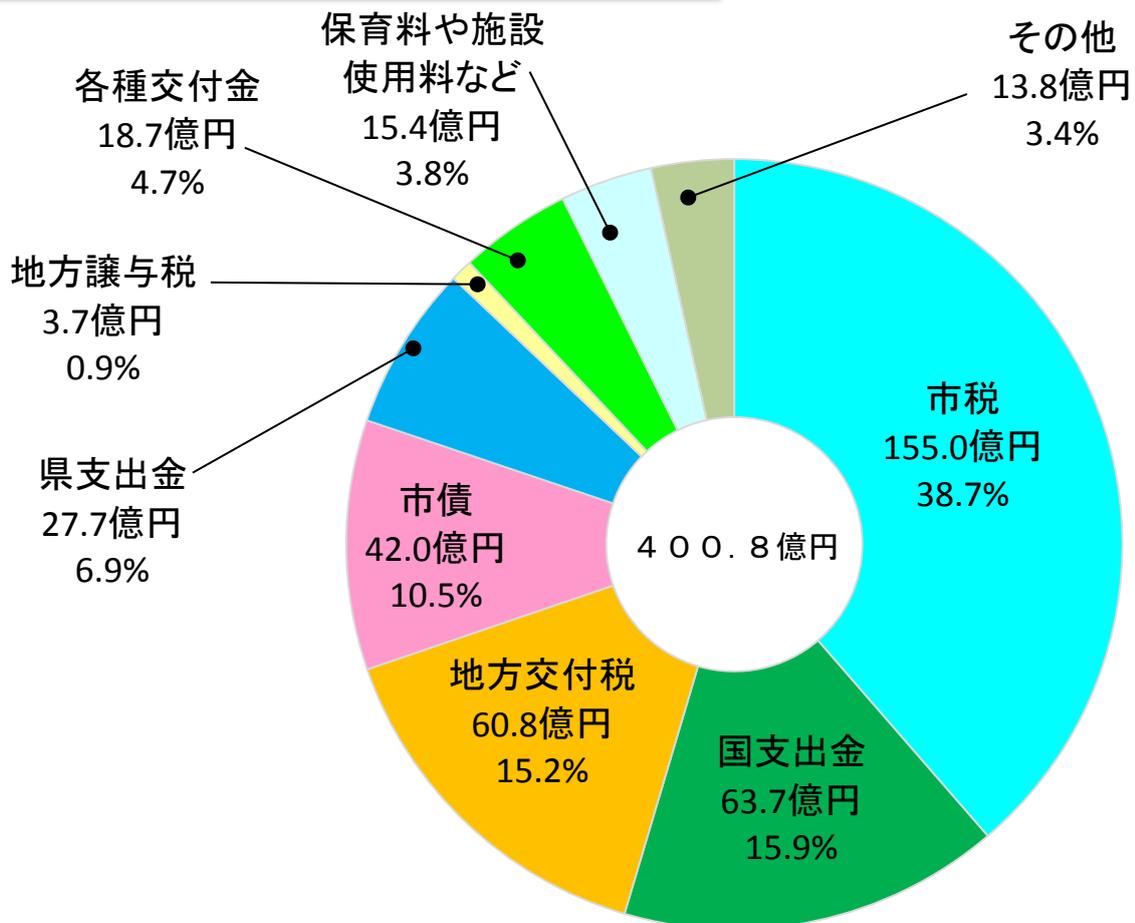


小松市の一般会計の収入のうち、
約46%が「自主財源」です。
約54%が「依存財源」です。
「依存財源」は、国や県により決定されるため、制度の改正などにより大きく増減する可能性があります。

安定的な収入を確保するため、「自主財源」の比率を高めていくことが大切です。

※()内は、H25年度の数値

Q. 一般会計の収入の内訳は？



ポイント！

- 市民の皆さんが納める税金が、収入の38.7%をしめます。
- 地方交付税は60億8,000万円で、前年度から3億7,000万円減少しています。
- 地方消費税交付金は13億円で、消費税率改定に伴い地方消費税率が1.0%から1.7%に変わることにより、前年度から2億円増加しています。
- 市債（借金）は、平成25年度は国の経済対策による臨時の補助金を活用できましたが、この補助金の終了などにより、前年度より5億2,580万円増加しています。

・市税の内訳

・固定資産税（土地や家屋を所有している人が納めます）	65億9,800万円
・個人市民税（所得に応じて納めます）	53億7,000万円
・法人市民税（会社の利益に応じて納めます）	16億円
・軽自動車税（軽自動車を持っている人が納めます）	2億1,500万円
・市たばこ税（タバコを買った人が納めています）	7億7,300万円
・その他（入湯税や都市計画税）	9億4,400万円

・国・県支出金

特定の目的（道路をつくるなど）のために国や県から交付されます。

- ・国庫支出金 63億7,185万1千円
- ・県支出金 27億6,759万6千円

・各種交付金の内訳

- ・利子割交付金 4,800万円
- ・配当割交付金 4,000万円
- ・株式等譲渡所得割交付金 1,200万円
- ・地方消費税交付金 13億円
- ・ゴルフ場利用税交付金 6,000万円
- ・自動車取得税交付金 6,000万円
- ・地方特例交付金 6,000万円
- ・交通安全対策特別交付金 1,700万円
- ・国有提供施設所在市助成交付金 2億7,000万円

・その他の収入

- ・分担金及び負担金（保育料など） 9億6,174万5千円
- ・使用料及び手数料（施設使用料や住民票手数料など） 5億8,167万9千円
- ・財産収入（土地などの売却収入や基金の利子など） 1億7,261万6千円
- ・繰入金（基金からの繰り入れ） 5億6,695万5千円
- ・繰越金（前年度からの繰り越し） 1千円
- ・諸収入 6億678万6千円

・地方交付税

地方自治体の税収の不均衡を調整し、全国どの地域も一定の行政サービスを提供できるように、国から交付されます。金額は、自治体の財政状況によって決まります。

- ・普通交付税 54億円
- ・特別交付税 6億8,000万円

・地方譲与税

国税として徴収した収入の一部を一定の基準により地方自治体に譲与されます。

- ・自動車重量譲与税 2億5,000万円
- ・航空機燃料譲与税 1,000万円
- ・地方揮発油譲与税 1億1,000万円

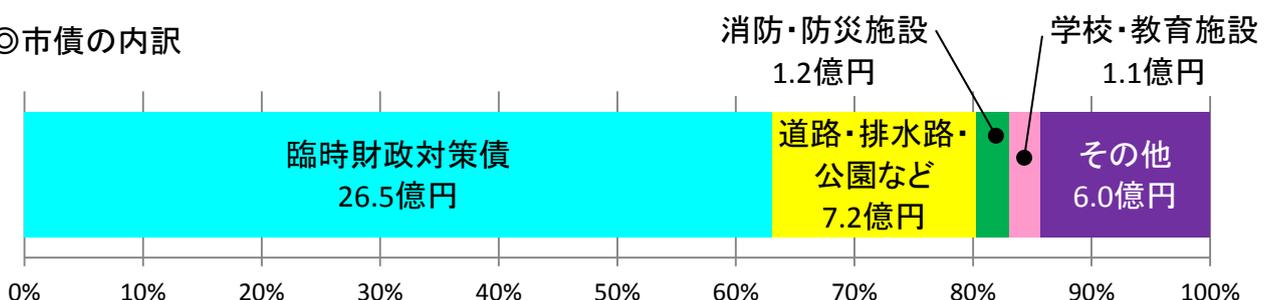
Q. 借金をするのは、なぜ？

道路や防災対策には一度に多額の経費がかかります。そのお金を調達する1つの手段として借金することがあります。

そのほか、国から地方交付税としてもらえるお金が、国の事情により減らされ「臨時財政対策債」として市が借金をしています。

平成26年度は、前年度から5億2,580万円増加しますが、**半分以上が「臨時財政対策債」**となっています。

◎市債の内訳



4. 予算は何に使うの？

一般会計支出
400.8億円

義務的経費

人件費	58億9,069万2千円
扶助費	84億4,461万円
公債費	65億8,040万円
小計	209億1,570万2千円

毎年、必ず支出しなければならない経費です。

- ・人件費…職員の給料など
- ・扶助費…子どもや障がい者，高齢者などの福祉や医療にかかる経費
- ・公債費…借金の返済にかかる経費

一般行政経費

物件費	53億8,458万4千円
補助費等	24億5,119万9千円
維持補修費	1億6,750万8千円
一部事務組合負担金	1億5,077万6千円
上下水道・病院への交付金	28億1,499万8千円
小計	109億6,906万5千円

施設の維持管理費や，行政サービスを行うための事務経費です。

- ・物件費 …光熱水費や消耗品費，通信費など
- ・補助費等…公益団体に対する補助金など
消費税率改定の影響を緩和するための臨時交付金も，ここに含まれます。
- ・一部事務組合負担金…複数の自治体が共同で事務を行う組合に対する小松市の負担金
- ・上下水道・病院への交付金…事業の公益性から，費用の一部を国の基準に基づき負担する経費

投資的経費

普通建設事業(補助)	24億4,180万2千円
普通建設事業(単独)	19億4,787万6千円
災害復旧事業	1千円
小計	43億8,967万9千円

道路や公園，防災・減災対策など，建設事業にかかる経費

その他の経費

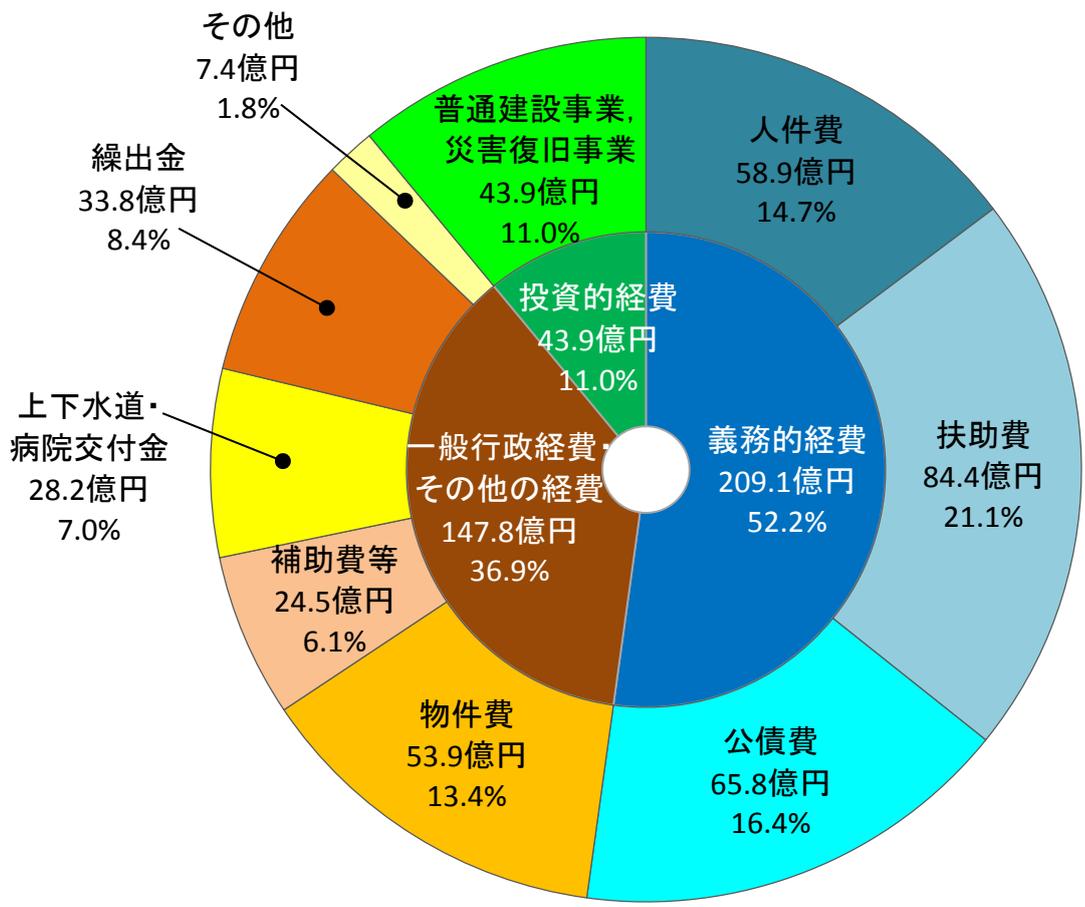
積立金	1億4,018万6千円
貸付金	2億7,084万4千円
繰出金	33億8,452万4千円
予備費	1,000万円
小計	38億555万4千円

上記以外の経費です。

- ・積立金…基金（市の貯金）への積立
- ・繰出金…特別会計に対し負担する経費
31億9,811万5千円が国民健康保険，介護保険，後期高齢者医療の社会保障にかかる特別会計への負担分です。
- ・予備費…緊急に支出が必要となったときのために準備している予算

合計	400億8,000万円
----	-------------

Q. 一般会計の支出の内訳は？



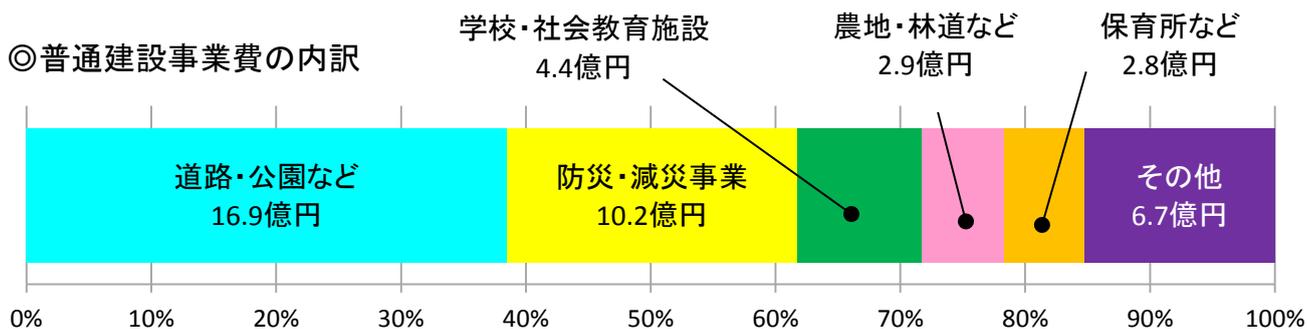
ポイント！

- 義務的経費は、前年度から約3,300万円減少しましたが、全体の半分余となっています。このうち、人件費、公債費は前年度から減少しましたが、社会保障関係の経費が伸びたことにより、扶助費は約2億円増加しました。
- 一般行政経費は、消費税率改定の影響緩和のための臨時給付金3億6,000万円増や、消費税率改定による経費の増加などで、約5億3,000万円増加しています。
- 普通建設事業は、前年度から約4億600万円減少しています。
- その他の経費は、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の3つの特別会計への繰出金が1億7,000万円増加などで、約2億600万円増加しています。
- 扶助費に社会保障にかかる特別会計繰出金を加えた社会保障費は、116億4,272万5千円で、前年度から3億8,000万円余り増加し、支出にしめる割合は29.0%となっています。

①普通建設事業費

平成24年度に小・中学校耐震化100%を達成し、平成25年度にはサイエンスヒルズこまつや曳山交流館みよっさなどの大型事業が完了したことなどにより「建設工事」については減少（前年度比△21.8%）しています。

全国植樹祭に向けた木場潟周辺整備や、防災・減災事業などの「土木工事」は前年度並みとなっています。



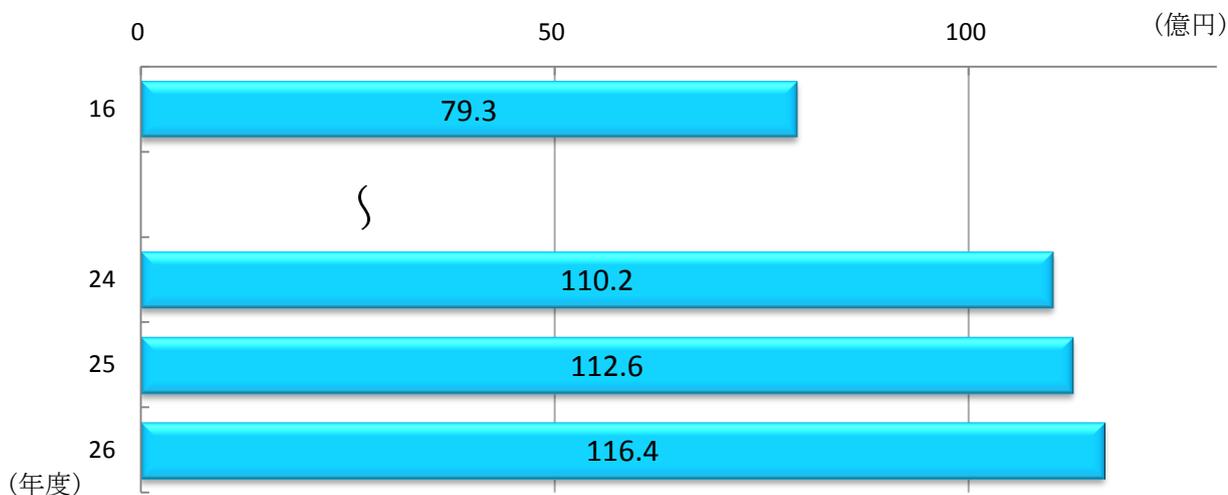
②社会保障費

少子・長寿社会の進展により、社会保障費は年々増え続け、10年前に比べると37.1億円増加しています。

公立保育所の民営化や障がい者福祉、助成を拡大した子どもの医療費助成などの扶助費の増、国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療への繰出金などが伸びるため、前年度に比べて3.8億円増となっています。

一般会計以外でも国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療の3つの社会保障の特別会計は、前年度に比べて4.9億円増加しています。

◎社会保障費の推移

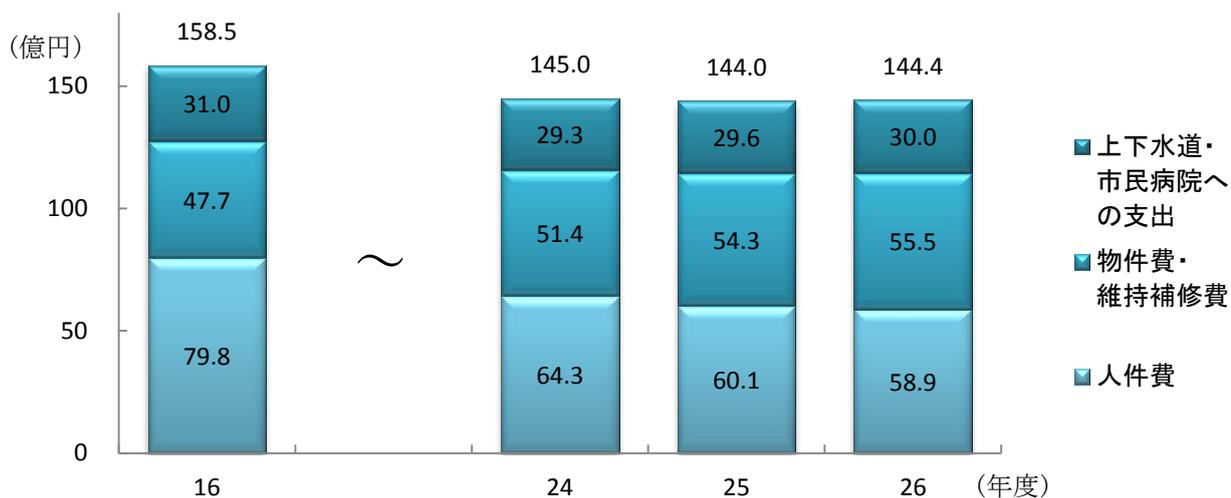


※平成24年度までは決算額，25・26年度は予算額

③行政コストの変化

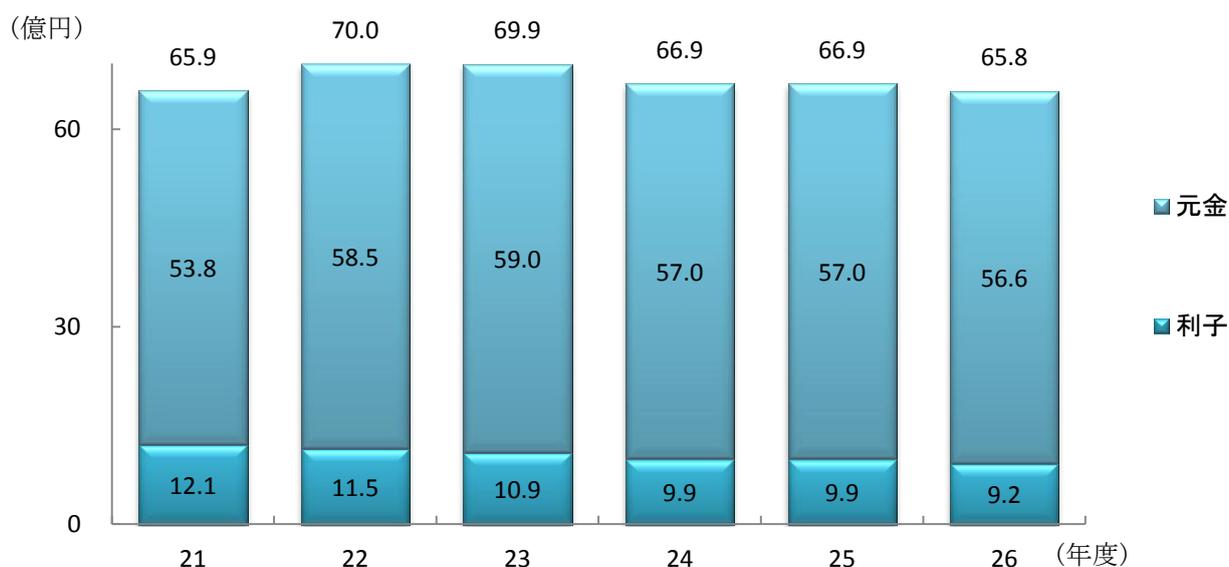
平成26年度の人件費は、民営化やアウトソーシングによる職員の減少などにより前年度から1.2億円の減少となっています。

マイナンバー制度導入準備のためのシステム改修費や、消費税率改定に伴う影響などで物件費・維持補修費は1.2億円の伸びとなり、全体としては前年度に比べて0.4億円の増加となっています。



④借金返済額の推移

市債発行の抑制や繰上償還を行ったことなどにより、平成26年度の公債費は1.1億円（元金 0.4億円，利子 0.7億円）の減額となっています。



※平成24年度までは決算額，25・26年度は予算額

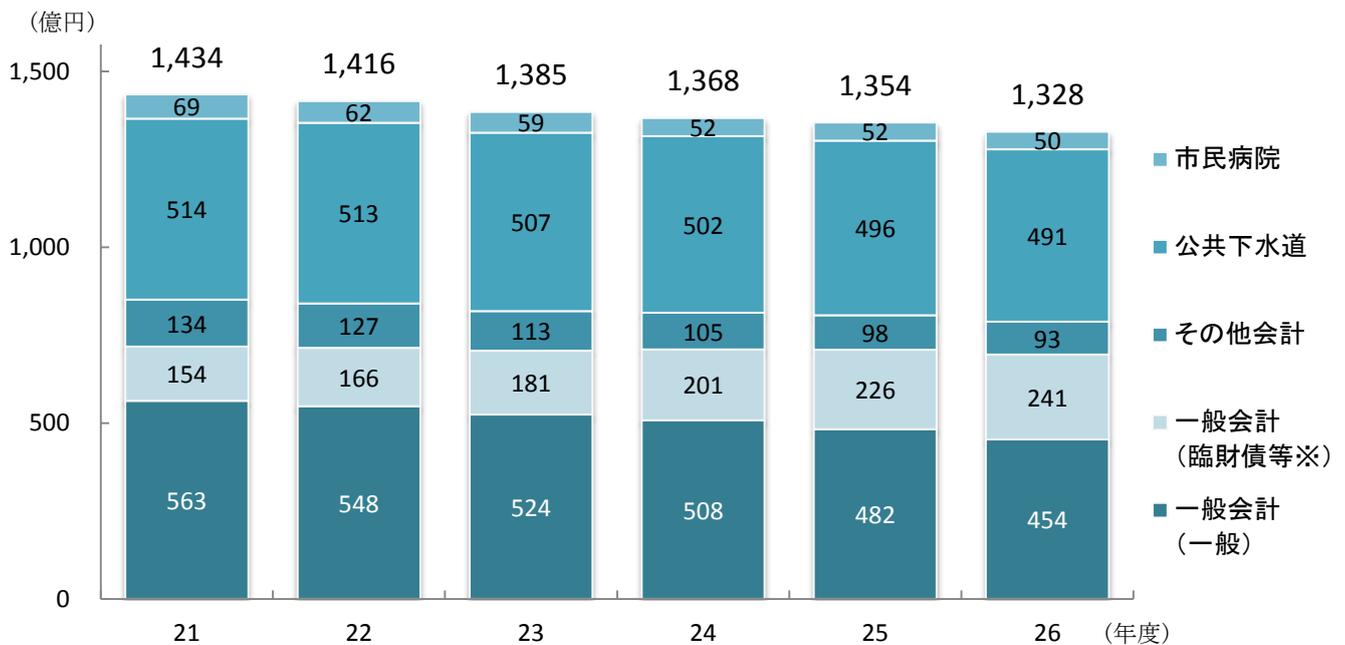
※繰上償還に係る元金を除く

5. 借金(市債)はいくらあるの？

小松市の借金(市債)の残高は、繰上償還等を行ってきたことなどにより、平成22年度より全会計で減少に転じています。

将来負担軽減のため、10年ビジョンにおいて「将来負担200億円軽減」を目標に掲げ、改善に努めています。

平成21年度末から4年間で80億円を改善見込みです。平成26年度末では、前年度より全会計で約26億円（H21からの累計 106億円）改善見込みです。

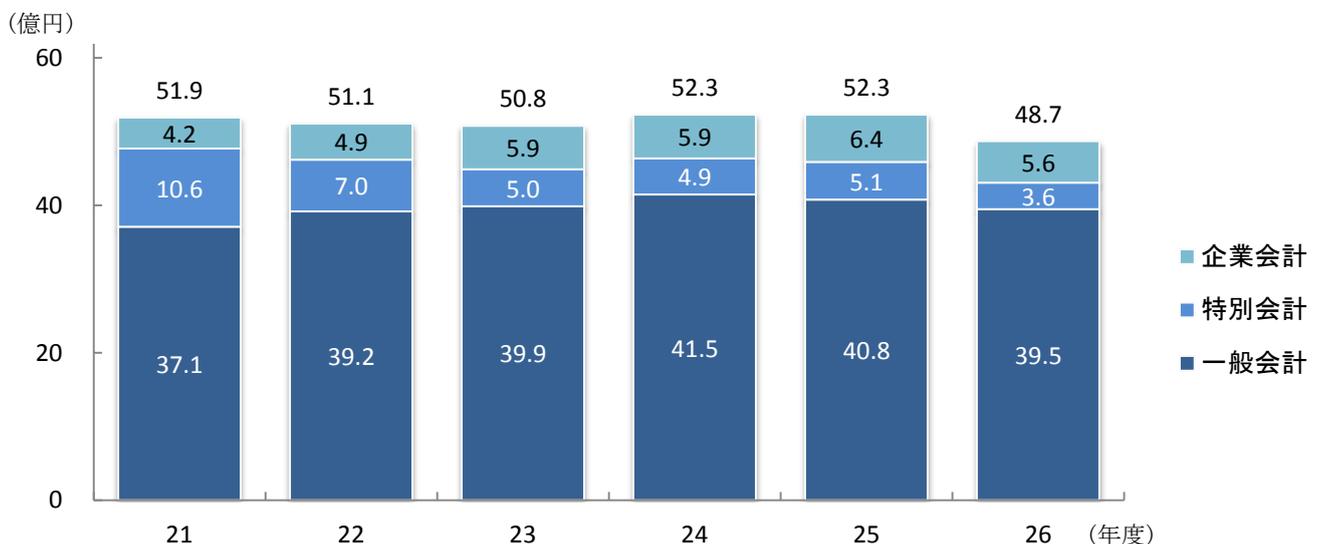


※平成24年度までは決算額，25年度は決算見込額，26年度は当初見込額

6. 貯金はいくらあるの？

平成26年度は、貯金を活用して国民健康保険税の伸びを抑えたため、特別会計で1.5億円減少しています。一般会計では、年度間の財政調整のため1.3億円減少しています。

今後、借金の減少と合わせて貯金の確保に努めていきます。



※平成24年度までは決算額，25年度は決算見込額，26年度は当初見込額

「まちの新しい形とイメージアップ」を仕上げ、まちをグレードアップさせます！



8つのテーマの実現に向けて、平成26年度は、次の事業を実施します。

成長

子どもたち、みんなの夢のために

1 全国トップレベルの出産・子育てしやすいまちに

○保育料を引き下げます（平成26年7月から）（影響額）△9,000万円

市民税所得割	保育料(3歳未満)		保育料(3歳以上)	
	現行	改定後	現行	改定後
3,000円～40,000円未満	26,000円	22,000円	21,000円	17,000円
40,000円～103,000円未満	33,000円	28,000円	24,000円	20,000円
103,000円～413,000円未満	36,000円	32,000円	27,000円	23,000円

○こども医療費の自己負担額を引き下げます 2億6,370万円

区分	現行	改定後
0歳～3歳未満	なし	なし
3歳～未就学児	500円/月	なし
小学生～18歳	1,000円/月	500円/月
うち第3子以降	500円/月	なし

○子どものインフルエンザ予防接種を助成します（影響額）1,500万円

1回あたり、1,000円の助成		
対象	未就学児	2回/年
	小学生・中学生	1回/年

○消費税率改定に伴い、子育て世帯に対して子育て世帯臨時特例給付金を給付します 1億3,700万円

対象	児童手当の支給世帯(臨時福祉給付金対象者は除く)
給付額	児童一人につき1万円

2 子どもたちが夢を描き成長できる環境づくり

- 小学校5, 6年生の主要教科で, きめ細やかな指導を行うための教員を配置します 2,433万円
- 安全・衛生対策に重点を置いた中学校5校のプール改修を行います(丸内中, 松陽中, 御幸中, 中海中, 板津中) 5,410万円
- 小中学校にタブレット型パソコンや液晶モニターを導入し, ICT教育を推進します 4,710万円
- 小学校(蓮代寺小, 国府小)の運動場の一部を芝生化します 930万円

くらし

安心で楽しくスマートな住みよいまちに

1 身近で安心の医療・福祉・防災

- 浸水対策として九竜橋川・石橋川の排水路整備を促進します 3億9,500万円
- 有線放送から防災行政無線へ, 各家庭に個別受信機を設置します 4億2,100万円
- 自主防災組織への支援(広域的訓練への助成, 防災士・しみん救護員の養成拡大など)を拡充します 400万円
- 高規格救急車を購入します 3,100万円
- 消費税率改定に伴い, 住民税非課税の方へ臨時福祉給付金を給付します 2億4,000万円

対 象	市民税(均等割)が非課税の方
給付額	一人につき1万円, 年金受給者などは1万5,000円

2 エンジョイ・スマートライフを応援

- 大学との連携で新しい健脚体操を考案し, ロコモティブシンドロームや認知症を予防します 905万円
- 長寿記念写真撮影券贈呈を傘寿(80歳)から喜寿(77歳)に変更します 1,300万円
- 湯ったりカード利用による「ふれあい入浴デー」を推進し, 健康長寿日本一を目指します 672万円
- 定住促進支援制度における3世代・準3世代家族世帯に対する住宅建設等の支援を市内全域に拡大します 5,000万円
- ビジネス・観光での利便性向上のため, 小松運動公園などに公衆無線LANを整備します 4,700万円
- 公共施設3カ所にオストメイト対応トイレを設置します 280万円

進化

第66回全国植樹祭に向けて ～豊かな自然と美しい景観を未来に～

1 水郷「木場潟」を全国に誇る景勝地に

- 手をつないで木場潟を囲む1万人の輪「スマイル木場潟」を開催します 400万円
- 来春開催の第66回全国植樹祭に向け、プレイベント開催や会場周辺を整備します 800万円
- 木場潟周辺の道路を整備し、アクセス向上を図ります（木場潟公園線、今江三谷バイパス線ほか） 2億7,230万円
- 全小学校25校下設立の「緑の少年団」の活動を助成します 500万円

2 フローラルこまつ、グッドマナーこまつの推進

- 市民総がかりの花いっぱい運動でフローラルこまつを推進します 1,700万円
- おもてなし力向上や交通マナーアップ、美しいまちづくりに取り組み、グッドマナーこまつを推進します 200万円

進化

歴史ある伝統文化を活かし、新しい小松文化を創造

- 歌舞伎役者による本物の講座開催や子供歌舞伎の台湾公演など「歌舞伎のまち」を推進します 650万円
- こまつ未来塾による能楽、義太夫、邦楽、歌舞伎の教室を引き続き開講し、人材育成に努めます 775万円
- 全国子供歌舞伎フェスティバル(5/4～5/15)、お旅まつり(5/9～5/12)を開催し、全国に小松文化を発信します 1,450万円





躍動

小松市 2020 Spirit & Movement ～東京オリンピック・パラリンピック開催決定を機に

1 国内外で躍進するアスリートを育成

- 医・科学サポートの対象増員や各種セミナー開催など
アスリートを育成します 1,200万円
- 西部・南部地区体育館の耐震化・照明のLED化を図り
ます 1,500万円
- 県外のスポーツや文化団体のコンベンション誘致の取り組み
を支援拡大します 550万円
 - ・買い物券(500円→1,000円)
 - ・誘致団体への奨励制度(3万円～7万円)
 - ・コンベンション団体の地域貢献活動への奨励制度
(1件 2万円～)
- NTC競技別強化拠点施設である木場潟カヌー競技場
のトレーニング機能を充実します 890万円

2 北陸で際立つ国際都市に

- 就学前児童や地域・団体に対する留学生等による国際交流・
国際理解を推進します 150万円
- 交通機関やホテルでの多言語対応マニュアルや4カ国語対応
のリーフレットを作成し、海外からの誘客を促進します 300万円
- 小松・ビルボード姉妹都市40周年記念事業を開催し、姉妹
都市との交流を深めます 680万円

発展

北陸の成長を引っ張るターミナルに

- YS-11シミュレータなど1階展示エリアをリニューアルし、航空プラザをより魅力ある施設にします 1,960万円
- 金沢以西の北陸新幹線建設を推進します 1,620万円
- JR粟津駅の東・西地区において道路・排水路を整備します 9,920万円

産業

もっとたくましい「ものづくり」のまちへ

1 全国の模範となる農林水産業に

- 6次産業化商品の「こまつもん」ブランド認定と販売ブース設置による販路拡大を図ります 610万円
- 産学と地域連携による農産物の6次産業化を引き続き実施します 2,400万円
- 大杉町地内の林道北谷線、西俣町地内の林道熊谷線の開設工事をします 9,500万円

2 バランスのとれた産業都市へ

- 新産業団地用地として正蓮寺エリアの環境調査と基本設計を引き続き実施します 500万円
- 中小企業等の省エネルギー化や企業の海外販路開拓などの取り組みを支援します 1,700万円
- ものづくり人材の育成、こまつの技の継承を促進します 682万円
- 「こまつビジネス創造プラザ」において、産業振興支援員による起業相談や主催セミナーによる企業サポートを実施します 830万円

改革

まちづくりに魂を込める行政へ

1 市民から評価される市役所づくり

- 2020年東京オリンピック開催など次の10年を見据えたビジョンを策定します 300万円
- 平成26年4月から市税のコンビニでの支払い開始します 250万円
- 平成28年1月からの住民票など証明書のコンビニ発行へ向けたシステムを構築します 2,200万円

2 その他

- 市長・副市長・教育長の給与を引き続き減額します（影響額）△262万円



◎もっと詳しく知りたい方は…

小松市ホームページの組織別案内から「財政課」ページをご覧ください。

[発行]平成26年4月

小松市総合政策部財政課
〒923-8650 石川県小松市小馬出町91番地
TEL : 0761-24-8144 (直通) FAX : 0761-24-8190
メール : zaisei@city.komatsu.lg.jp
HP : <http://www.city.komatsu.lg.jp/zaisei/>

